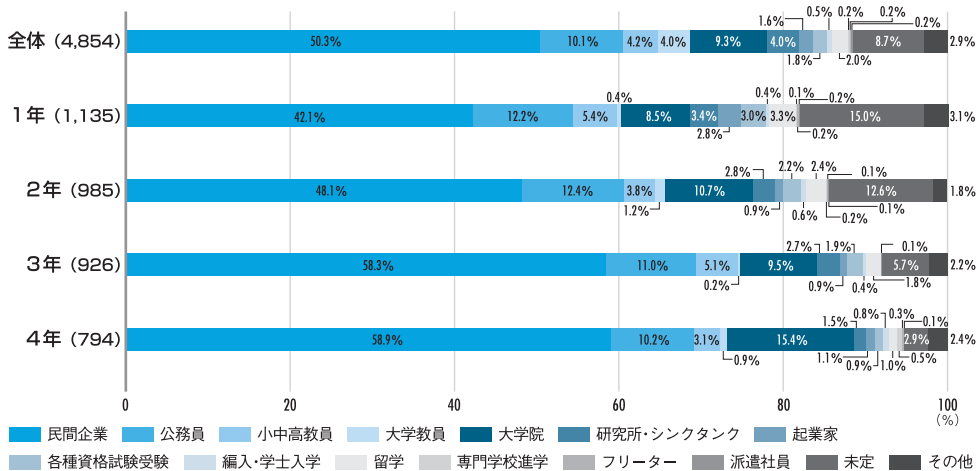


第2章 将来設計（キャリアプラン）と準備について

本章では、将来設計に関する学生の意識の変化や悩み、キャリアプランを考える上での課題の調査結果をまとめました。

卒業後の進路はどうしたいと考えていますか？



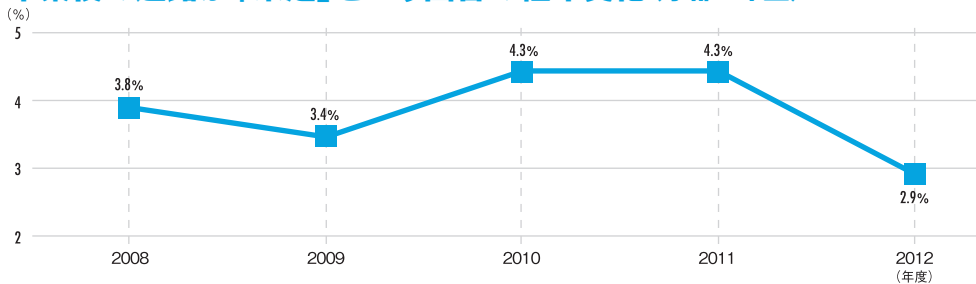
大学院生を含めて全体的に見ると、今年度は卒業後の進路が「未定」の回答は8.7%と、過去5年間で最も低い値でした。

また、学部学生に注目すると、1～4年生で見たときに卒業後の進路が「未定」の回答の割合が少ないのは、1年生の段階から進路に対する意識や関心が高く、入学当初から自分のキャリアを検討している学生が多いことを示しています。

また、学年別に見ると、学年が上がるにつれて民間企業志望者が増えており、文系と理系で比較すると、文系の学生が「公務員」を志望する割合は理系（4.8%）に対して2倍以上（13.2%）になっています。

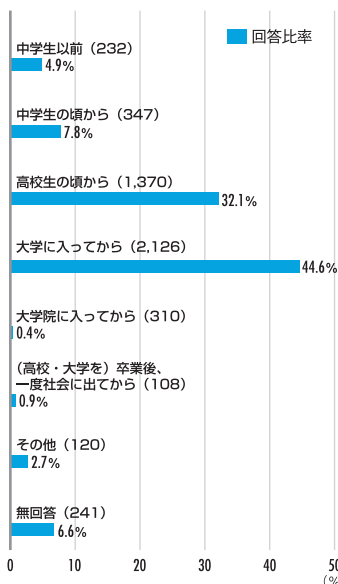
卒業後の進路が「未定」という学部4年生の回答を過去5年間で見ると、2010年度と2011年度は4%台に増加していますが、2012年度は過去5年間で最も低くなっています。

卒業後の進路が「未定」という回答の経年変化（学部4年生）

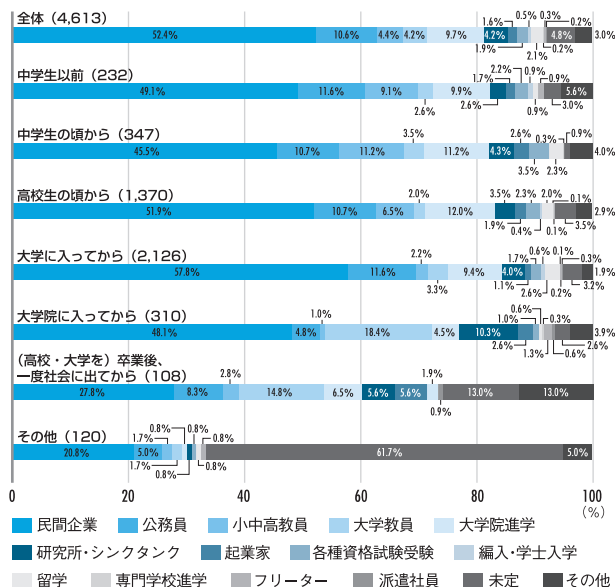


進路を考え始めたのはいつ頃ですか？（学部学生）

単純集計結果



進路希望先と進路決定時期のクロス集計結果

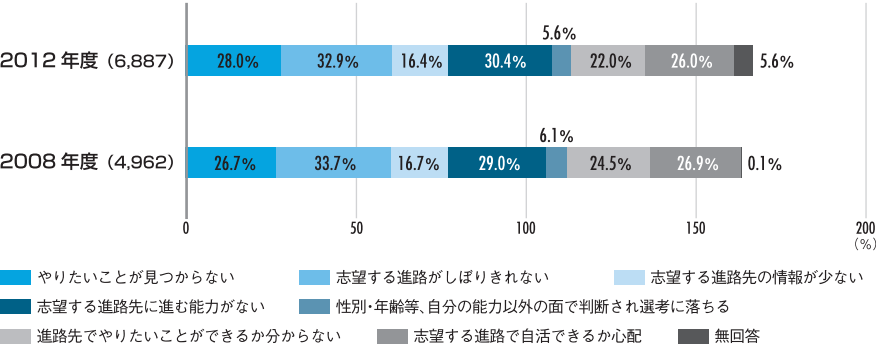


進路を考え始めた時期は「大学に入ってから」が44.6%と最も多く、次いで「高校生の頃から」が32.1%、両方合わせて75%以上を占めています。これは過去3年間も同様です。「中学生の頃」に進路を決めた学生は進路先を小中高教員とする割合が全体平均（4.4%）の2倍以上（11.2%）でした。

進路決定時期が「大学入学後」の場合は民間企業を希望する割合が最も高いようです。

将来の進路についてどのようなことが不安になりますか？ (学部学生)

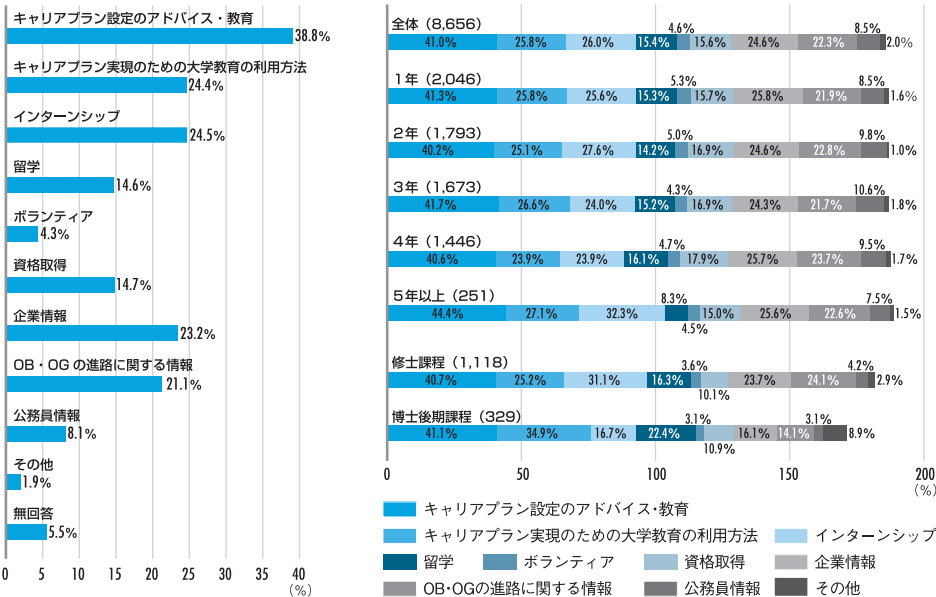
※グラフは今年度と4年前の調査結果を示しています。



4年前（2008年度）と見比べるとそれほど大きな変化はありませんが、「進路先でやりたいことができるか分からない」が2.5%減少したのに対して、「やりたいことが見つからない」は1.3%増加し、「志望する進路先に進む能力がない」は1.4%増加しています。

やりたいことが見つからないゆえに、進路選択やキャリア形成に必要な能力を磨くことに悩んでいる学部生が増えていることがうかがえます。大学のキャリア形成支援サービスを利用して、自分のやりたいことを早い段階からじっくり検討することが肝要です。

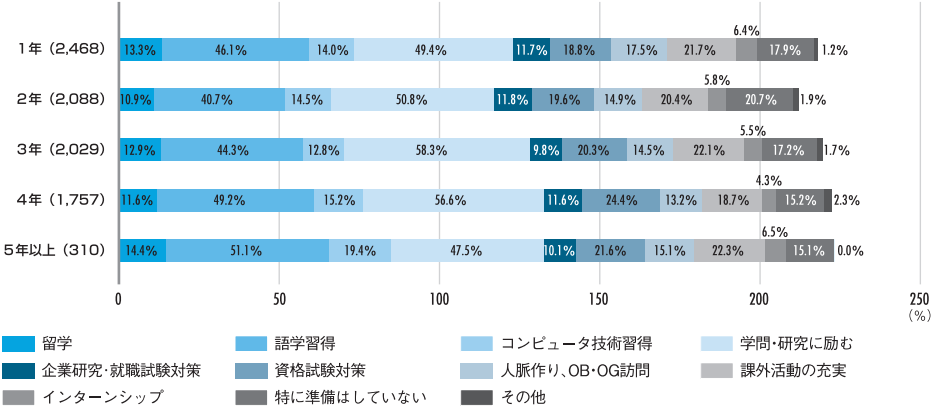
将来設計のために大学から提供してほしい情報・サービスは何ですか？ (学部学生・大学院生全体)



将来設計に関して大学から提供を希望する情報は、「キャリアプラン設定のアドバイス・教育」が38.8%と最も高くなっています。2年前（2010年度）のデータと見比べると、インターンシップと留学に関する情報へのニーズが3%以上高まっているのに対して、資格取得に関する情報のニーズは約7%も低くなっているのが特徴です。

また、インターンシップの情報を希望する学生数は就職活動時期と密接な関係がありますが、2年前よりも1・2年生が増えています。インターンシップへの関心が低学年で高まっていることが見てとれます。

将来設計に向けて、現在どのような準備をしていますか？ (学部学生)



「学問・研究に励む」は1・2年生では約50%ですが、3・4年生では50%後半に高まっています。

高学年になると、企業研究や就職試験対策を厚くしている人が多いようです。

さらに高学年では「資格試験対策」の割合が高くなっており、特に4年生で高くなっているのが特徴です。

また、高学年において語学習得の割合が高いのは、社会に出る前に語学力を磨いておこうという学生が多いことを示しています。

まとめ

学部学生（1～4年生）で卒業後の進路が「未定」の回答の割合が低いのは、入学当初から進路に対する意識や関心が高く、自分のキャリアを検討している学生が多いことや、社会に出ることへの関心の高まりを示しています。学部4年生に注目すると、進路が「未定」の回答の割合は過去5年間で最も低くなっています。その一方で、将来の進路に対して不安に思うことを見てみると、「やりたいことが見つからない」「志望す

る進路先に進む能力がない」が4年前に比べて増えており、進路選択やキャリア形成に必要な能力を磨くことに悩んでいる学部学生が増えていることがうかがえます。やりたいことを見つけて、自分の志望する進路に進んでゆく能力を磨くためには、可能性に果敢にチャレンジしていくことが重要です。大学が提供するさまざまなキャリア形成支援サービスを利用してください。